

平成23年度

北九州市における石綿の健康リスク調査報告書

平成24年3月

北九州市

— 目 次 —

1. 目的.....	1
2. 調査.....	1
3. 結果.....	2
4. 今後の予定	3
5. 検査項目別人数.....	4
6. 年齢階層別人数.....	4
7. 指定医療機関別人数.....	4
8. 各年度受診状況別人数	5
9. 各年度の受診者数及び累計実人数	5
10. ばく露歴と画像所見に係る集計表.....	6
11. 次年度検査予定者、検査終了者	11
12. 平成 22 年度受診者のうち、平成 23 年度受診しなかった者のアンケート結果	11
13. ばく露歴集計	12
14. ばく露歴及び年齢階層分類表	13
15. ばく露歴と X 線画像所見のクロス集計表.....	13
16. ばく露歴と CT 画像所見のクロス集計表	14
17. ばく露歴分類が「オ(その他)」の者に関するプロット図	18
18. 平成 22 年度調査受診者の診断経過について	21

1. 目的

一般環境を経由した石綿ばく露による健康被害の可能性があった地域において、石綿取扱い施設の周辺住民に対して、問診、胸部X線検査、及び胸部CT検査を実施することにより、石綿ばく露の医学的所見である胸膜プラーク等の所見の有無と健康影響との関係に関する知見を収集する。

平成 22 年度からの第 2 期石綿健康リスク調査（平成 22 年～平成 26 年度の 5 年間を予定）においては、対象者を大幅に増加させるとともに、毎年の検査（年 1 回）や健康状況の確認を確実に行うことにより、石綿ばく露の状況の違い等による石綿関連所見や関連疾患の発生状況の比較等を行い、石綿ばく露者の中・長期的な健康管理のあり方を検討するための知見を収集する。

北九州市においては、平成 21 年度から実施しているが、平成 23 年度においても引き続き実施することにより、石綿ばく露の状況の違い等による石綿関連所見等の集計を行い、周辺住民の健康管理に資する。

2. 調査

① 対象者

平成 16 年以前に北九州市門司区に居住歴のある者で、石綿ばく露の可能性のある者を調査対象者とした。平成 23 年度より、平成 16 年度以前に北九州市門司区に「居住歴のある市民」から「居住歴のある者」に対象を拡大した。

② 内容

（ア）広報

平成 21 年度、平成 22 年度の調査協力者で案内状を送付した者に加え、市政だより（6 月 15 日号）、自治会の班回覧、医療機関でのポスター掲示、対象地区での住民説明会や石綿スレート工場跡地周辺地区への戸別チラシ配布のほか、市ホームページ、市政ラジオ・テレビでの事業紹介、近隣自治体広報誌への記事掲載等により募集を行った。

（イ）受付及び問診

受付は北九州市総合保健福祉センター管理課において行った。申込者に対し、保健師立会いのもと問診票を用いた問診を実施した。問診時に、本調査事業の説明、調査協力に対する同意をとり、調査台帳に登録を行い、胸部X線検査、胸部CT検査の精密診断を実施するに当たり、指定医療機関への受診券を発行した。

なお、既に胸部CT検査など精密診断を受けている場合は、本人の承諾を得て、実施医療機関より胸部X線検査及び胸部CT検査のフィルムコピー等を取り寄せた。

（ウ）検診

北九州市が発行した受診券を指定医療機関に提出し、胸部X線検査、胸部CT検査、診察を行った。指定医療機関は、九州労災病院門司メディカルセンター、九州労災病院、西日本産業衛生会、産業医科大学病院に、平成 23 年度は新たに北九州市立門司病院を加

え 5 つの医療機関とした。なお、継続受診者は、胸部 X 線検査を原則とし、必要に応じて胸部 CT 検査を行った。

(エ) 医学的所見の確認

石綿による健康影響に関する調査を円滑に行うために専門家会議を設置するとともに、専門家会議の運営を円滑に進めるために読影部会を設置した。医学的所見の確認にあたっては、読影部会による読影を行い、読影部会で判定保留になったものについては、専門家会議で再度読影を行い、受診者に郵送で結果を通知した。

【医学的所見の振り分けの考え方】

① 精密検査又は医療の必要があると判断された者

認められた所見について説明し、すみやかに医療機関を受診し、医師の指示に従うよう指導する。

② 所見を有しているが、医療の必要がないとされた者

認められた所見について説明し、直ちに医療機関へ行く必要はないが、経過観察を行うため、引き続き、当調査による検査を受診するようお願いする。(受診勧奨)

③ 所見を有しない者

所見が認められないことを説明し、経過を確認するため、引き続き、当調査による検査を受診するようお願いする。(受診勧奨)

(オ) データの集計

北九州市石綿健康リスク調査専門家会議を 2 回開催し、医学的な観点からの判断や検討を行った。

3. 結果

問診を受けた者は 169 人、そのうち胸部 X 線検査・胸部 CT 検査まで受診した者（他の医療機関で受診した者を含む）は 164 人であった。

164 人のうち、石綿取り扱い施設が稼動していた平成 16 年以前に北九州市門司区に居住していた者は 161 人であった。その内訳は以下のとおり。

①平成 23 年度初めて受診した者は 74 人（46.0%）、平成 22 年度より継続して受診した者は 33 人（20.5%）、平成 21 年度より継続して受診した者は 48 人（29.8%）、平成 21 年度受診し平成 23 年度受診した者は 6 人（3.7%）であった。

②男性 82 人（50.9%）、女性 79 人（49.1%）

③現在北九州市門司区に居住している者は 134 人（83.2%）であった。

④年齢は、16 歳から 86 歳までで、年齢別に見ると、60 歳代の受診者が 77 人（47.8%）と一番多く、次いで 70 歳代 46 人（28.6%）、50 歳代 17 人（10.6%）、その他の年齢の合計は 21 人であった。

ばく露歴は、6 ページの A-1 表アに相当する主に直接石綿を取り扱っていた職歴がある者が 66 人 (41.0%) と最も多く、次いで同表オに相当するばく露歴が確認できない者が 40 人 (24.8%) であった。

石綿関連所見のある者 17 人のうち、胸膜プラークの所見がある者が 17 人で、石綿関連の肺野の間質影がみられる者はいなかった。

胸膜プラークを有する 17 人のうち、ばく露歴として、直接石綿を扱っていた職歴がある者は 14 人であり、次いで直接ではないが、職場で石綿ばく露の可能性のある間接職歴がある者が 2 人、立入・屋内環境ばく露の可能性のある者が 1 人であった。

オのばく露歴が確認できない者で胸膜プラークの所見を認められる者はいなかった。

平成 22 年度受診し、経過観察となった者 41 人中 13 人が平成 23 年度にも受診しており、平成 23 年度の所見は、新所見 1 人、所見の変化あり 2 人、不変 10 人だった。

今回の検診においては、経過観察 29 人 (石綿由来の所見のある者は 17 人、石綿以外の所見のある者 12 人) であり、異常なし 128 人、要精査 3 人、要医療 1 人であった。

4. 今後の予定

平成 24 年度においては、新規の調査対象者の募集を行うとともに、平成 21～23 年度に受診した者についても継続して調査への協力を求め、データの更なる蓄積を図っていく予定である。

5. 検査項目別人数

表1 検査項目別人数

受診内容	合計	
	(人)	(%)
問診＋胸部X線＋胸部CT	126	74.5%
問診＋胸部X線のみ	38	22.5%
問診＋胸部CTのみ	0	0.0%
問診のみ	5	3.0%
合 計	169	100.0%

※平成24年3月31日現在

6. 年齢階層別人数

表2 年齢階層別人数

	合計		男		女	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
40歳未満	3	1.8%	2	2.3%	1	1.2%
40～49歳	12	7.1%	6	6.9%	6	7.3%
50～59歳	20	11.8%	10	11.5%	10	12.2%
60～69歳	79	46.8%	43	49.4%	36	43.9%
70～79歳	47	27.8%	23	26.4%	24	29.3%
80～89歳	8	4.7%	3	3.5%	5	6.1%
90～99歳	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
100歳以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合 計	169	100.0%	87	100.0%	82	100.0%

※平成24年3月31日現在

7. 指定医療機関別人数

表3 指定医療機関別人数

指定医療機関名	合計		男		女	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
門司メディカルセンター	78	47.6%	37	44.0%	41	51.3%
西日本産業衛生会	40	24.4%	18	21.4%	22	27.5%
北九州市立門司病院	21	12.8%	13	15.5%	8	10.0%
九州労災病院	15	9.1%	5	6.0%	3	3.7%
産業医科大学病院	8	4.9%	10	11.9%	5	6.2%
その他	2	1.2%	1	1.2%	1	1.3%
合 計	164	100.0%	84	100.0%	80	100.0%

※その他は、胸部X線検査及びCT検査のいずれもせず、フィルム取寄せ(指定医療機関含む)により対応

※平成24年3月31日現在

8. 各年度受診状況別人数

分類	平成21 年度受 診	平成22 年度受 診	平成23 年度受 診	平成23年度受診者数					
				受診者			うち調査対象者		
				計	男性	女性	計	男性	女性
平成21年度 新規受診者	●	●	●	48	22	26	48	22	26
	●		●	6	2	4	6	2	4
平成22年度 新規受診者		●	●	33	16	17	33	16	17
平成23年度 新規受診者			●	77	44	33	74	42	32
小計				164	84	80	161	82	79
平成21年度 新規受診者	●			※1 66	35	31	66	35	31
平成22年度 新規受診者	●	●		※2 28	20	8	28	20	8
平成23年度 新規受診者		●		※2 44	23	21	44	23	21
小計				138	78	60	138	78	60
合計				302	162	140	299	160	139

※受診した年度にすべて●を記入

※平成24年3月31日現在

※1 平成21年度に受診した者のうち、平成22～23年度に受診しなかった者（問診のみの者を含む）

※2 第2期石綿の健康リスク調査受診者のうち、平成23年度に受診しなかった者（問診のみの者を含む）

9. 各年度の受診者数及び累計実人数

表5 各年度の受診者数及び累計実人数

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	累計延人数	累計実人数
受診者	148	153	164	465	302
うち調査対象者	148	153	161	462	299

※問診のみの者を除く。

10. ばく露歴と画像所見に係る集計表

A-1表:平成 23 年度受診者 166 名(平成 16 年以前に北九州市門司区に居住歴のある者)

通し番号 1~40

症例 番号	性別	生年 (西暦)	H21年 度の受 診の有 無	H22年 度X線 所見	H23年 度X線 所見	H24年 度X線 所見	H25年 度X線 所見	H26年 度X線 所見	H22年 度CT 所見	H23年 度CT 所見	H24年 度CT 所見	H25年 度CT 所見	H26年 度CT 所見	ア.直接 露歴あり	イ.間接 露歴あり	ウ.家庭 内ばく 露あり	エ.立 入・置 内環境 ばく露 あり	オ.その 他	ばく露 歴分類	備考 (その他所見、特記事 項)	次年度の受診
1	男	1940代	有	㊦	㊦				—	—							●	●	エ	肋骨骨折後	
2	女	1940代	有	なし	なし				㊦疑	㊦						●		●	ウ	右結節影(減少傾向)	
3	女	1940代	有	—	なし				—	なし								●	オ		
4	女	1940代	有	なし	なし				㊦	㊦				●				●	ア	左上葉結節(不変)	
5	女	1940代	有	なし	—				—	—						●			ウ	23年度問診のみ	
6	男	1950代	有	㊦	㊦				—	—								●	オ	右肺尖部胸膜肥厚 (不変)	
7	女	1950代	有	なし	なし				—	—								●	オ		
8	男	1940代	有	なし	なし				㊦	—				●				●	ア		
9	女	1940代	有	なし	なし				㊦	—								●	オ		
10	女	1950代	有	なし	なし				—	—								●	オ		
11	女	1930代	有	—	なし				—	—								●	オ		
12	女	1940代	有	—	なし				—	なし							●	●	エ		
13	男	1930代	有	㊦	㊦				㊦	—				●			●		ア	左下葉状索状影(不 変)	
14	男	1950代	有	—	なし				—	なし				●			●	●	ア		
15	女	1940代	有	㊦	㊦				㊦	㊦					●	●		●	イ	両肺野炎症性変化 (不変)	
16	女	1950代	有	㊦	㊦				㊦	㊦				●		●		●	ア	㊦(強皮症によるも の)	
17	女	1940代	有	なし	なし				—	—				●		●		●	ア		
18	男	1930代	有	㊦	㊦				㊦	—								●	オ	右肺旧性肋骨骨折	
19	男	1930代	有	㊦	㊦				㊦	—							●	●	エ	右中肺野小結節(不 変)	
20	男	1930代	有	㊦	なし				—	—				●				●	ア		
21	女	1930代	有	なし	なし				—	—						●		●	ウ		
22	女	1940代	有	なし	なし				なし	なし				●				●	ア		
23	女	1940代	有	なし	なし				㊦	㊦				●				●	ア	右肺下葉小結節(不 変)	
24	女	1940代	有	なし	なし				—	なし								●	オ		
25	女	1950代	有	なし	なし				—	—						●			ウ		
26	男	1940代	有	㊦	なし				なし	—							●	●	エ		
27	女	1940代	有	なし	なし				—	—						●		●	ウ		
28	男	1940代	有	なし	なし				㊦	—							●	●	エ		
29	女	1940代	有	㊦	なし				—	—						●			ウ		
30	女	1960代	有	なし	なし				—	—								●	オ		
31	女	1950代	有	なし	なし				—	—						●	●	●	ウ		
32	男	1940代	有	なし	なし				—	なし							●	●	エ		
33	女	1950代	有	なし	なし				—	なし								●	オ		
34	女	1940代	有	㊦疑	なし				㊦	なし					●	●		●	イ		
35	女	1940代	有	なし	なし				㊦	—								●	オ		
36	男	1940代	有	なし	なし				なし	なし								●	オ		
37	男	1940代	有	なし	なし				—	—				●					ア		
38	男	1940代	有	㊦	㊦				—	—				●					ア	左肺尖石灰化(不変)	
39	女	1950代	有	なし	なし				—	—						●			ウ		
40	男	1930代	有	なし	なし				㊦	㊦							●	●	エ	右下葉小結節(不変)	

通し番号 41～81

症例 番号	性別	生年 (西暦)	H21年 度の受 診の有 無	H22年 度X線 所見	H23年 度X線 所見	H24年 度X線 所見	H25年 度X線 所見	H26年 度X線 所見	H22年 度CT 所見	H23年 度CT 所見	H24年 度CT 所見	H25年 度CT 所見	H26年 度CT 所見	A.直接 職業あり	I.間接 職業あり	ウ.家庭 内ばく 露あり	エ.立 入・屋 内環境 ばく露 あり	オ.その 他	ばく露 歴分類	備考 (その他所見、特記事 項)	次年度の受診
41	男	1950代	有	⑤	⑤				⑤	⑤				●				●	A	⑤(石棉以外・不変)	
42	男	1940代	有	—	なし				—	—								●	オ		
43	男	1960代	有	なし	なし				⑨	⑨				●					A	右中葉線状陰影(不 変)	
44	男	1950代	有	なし	なし				—	なし								●	オ		
45	女	1940代	有	なし	なし				—	なし							●		エ		
46	女	1950代	有	—	なし				—	なし								●	オ		
47	女	1940代	有	なし	なし				—	なし								●	オ		
48	女	1950代	有	なし	なし				—	なし						●			ウ		
49	男	1940代	有	⑨	なし				⑨	⑨				●				●	A	リンパ節・胸膜石灰化 (不変)	
50	男	1940代	有	なし	なし				なし	—				●			●	●	A		
51	男	1940代	有	なし	なし				—	なし					●				イ		
52	男	1940代	有	なし	なし				—	—								●	オ		
53	男	1940代	有	なし	なし				なし	なし					●	●		●	イ		
54	女	1940代	有	なし	なし				—	—								●	オ		
55	女	1940代	有	なし	なし				—	なし								●	オ		
56	男	1940代	無	なし	なし				⑨	—				●	●				A		
57	男	1950代	無	なし	なし				なし	—					●				イ		
58	女	1940代	無	なし	なし				なし	なし						●		●	ウ		
59	男	1940代	無	⑨	⑦疑				②、⑨	①、 ②、④				●				●	A	胸水貯留(新所見)、 肺炎	
60	男	1920代	無	⑤	⑤				⑤	⑤				●				●	A	⑤(ヒュームによる)、リ ンパ節腫大・小結節 (不変)	
61	男	1950代	無	なし	なし				なし	なし				●		●			A		
62	男	1930代	無	⑤	⑤疑、 ⑧				⑤	⑤				●			●	●	A	右下胸膜癒着、右炎 症性変化	
63	男	1940代	無	⑨	⑨				⑨	⑨								●	オ	左肺線状影、両下肺 陳旧性変化(不変)	
64	女	1950代	無	なし	なし				なし	なし								●	オ		
65	男	1940代	無	なし	なし				なし	なし				●				●	A		
66	男	1940代	無	なし	なし				⑤	—					●		●		イ		
67	女	1940代	無	なし	なし				なし	なし						●			ウ		
68	男	1940代	無	なし	なし				なし	なし							●	●	エ		
69	男	1930代	無	⑨	⑧				⑨	⑧							●	●	エ	右胸膜石灰化(不変)	
70	女	1930代	無	なし	なし				なし	なし								●	オ		
71	女	1930代	無	⑨	なし				②	②				●				●	A		
72	男	1940代	無	なし	なし				⑤	⑨				●	●		●	●	A	左下肺小結節(炎症 性変化、不変)	
73	女	1940代	無	⑨	なし				なし	⑤						●		●	ウ	⑤(石棉以外の原因)	
74	男	1940代	無	なし	なし				⑨	⑤				●				●	A	右中葉小結節(不変)	
75	男	1940代	無	⑨	なし				⑨	⑨							●		エ	右肺切除術後	
76	女	1940代	無	なし	なし				⑨	—						●			ウ		
77	女	1940代	無	なし	なし				⑨	—								●	オ		
78	女	1930代	無	なし	なし				⑨	なし						●			ウ		
79	女	1950代	無	なし	なし				⑨	—				●					A		
80	女	1930代	無	なし	なし				なし	—						●	●	●	ウ		
81	男	1930代	無	②疑、 ⑧	②疑				⑨	⑨				●			●		A	右中葉小結節、左下 肺野炎症性変化、気 管支拡張症(いずれも 不変)	

通し番号 82~123

8

通し番号 124～166

症例 番号	性別	生年 (西暦)	H21年 度の受 診の有 無	H22年 度のX線 所見	H23年 度のX線 所見	H24年 度のX線 所見	H25年 度のX線 所見	H26年 度のX線 所見	H22年 度CT所 見	H23年 度CT所 見	H24年 度CT所 見	H25年 度CT所 見	H26年 度CT所 見	ア.直接 接触あり	イ.間接 接触あり	ウ.家庭 内ばく 露あり	エ.立 入・屋 内環境 ばく露 あり	オ.その他	ばく露 経分類	備考 (その他所見、特記事 項)	次年度の受診
124	女	1960代	無	—	なし				—	なし						●		●	ウ		
125	女	1960代	無	—	なし				—	なし								●	オ		
126	男	1950代	無	—	なし				—	なし							●	●	エ		
127	男	1930代	無	—	②疑				—	②				●	●		●	●	ア		手帳取得
128	女	1960代	無	—	なし				—	なし								●	オ		
129	男	1940代	無	—	⑤				—	⑤				●			●	●	ア	左肺野小結節、左肺 炎症性変化	
130	女	1930代	無	—	②				—	②				●		●	●	●	ア		手帳取得
131	男	1940代	無	—	なし				—	なし							●		エ		
132	女	1930代	無	—	⑤				—	⑤								●	オ	右上肺野陳旧性結核	
133	男	1960代	無	—	なし				—	なし							●		エ		
134	男	1970代	無	—	なし				—	なし							●	●	エ		
135	女	1930代	無	—	⑤				—	⑤				●			●	●	ア	両肺陳旧性変化、肺 底部癌着	
136	男	1950代	無	—	なし				—	なし				●			●	●	ア		
137	男	1930代	無	—	②疑、⑤				—	②、⑤				●			●		ア	左炎症性変化	
138	男	1950代	無	—	—				—	—				●					ア	問診のみ	
139	女	1950代	無	—	なし				—	⑤								●	オ	⑧縦隔リンパ節腫大 (異常とはいえない)	
140	男	1930代	無	—	なし				—	②				●			●	●	ア		
141	男	1940代	無	—	なし				—	⑤				●			●		ア	右肺炎性変化	
142	男	1930代	無	—	⑤				—	⑤								●	オ	両肺尖陳旧性変化	
143	男	1930代	無	—	なし				—	なし								●	オ		
144	女	1940代	無	—	なし				—	なし								●	オ		
145	男	1930代	無	—	⑤				—	なし				●			●	●	ア	気胸後の癒着	
146	男	1930代	無	—	②疑				—	⑤				●					ア	左乳腺腫大	
147	女	1940代	無	—	なし				—	なし								●	オ		
148	男	1940代	無	—	なし				—	なし				●					ア		
149	男	1940代	無	—	なし				—	なし				●				●	ア		
150	女	1950代	無	—	なし				—	⑤						●			ウ	右下肺野小結節	
151	女	1940代	無	—	なし				—	⑤						●		●	ウ	甲状腺石灰化	
152	女	1940代	無	—	なし				—	なし					●	●	●	●	イ		
153	女	1990代	無	—	なし				—	なし								●	オ		
154	男	1960代	無	—	⑤				—	⑤					●		●		イ	左縦胸後	
155	男	1950代	無	—	②				—	②					●			●	イ		
156	男	1950代	無	—	②、⑤				—	②、⑤				●				●	ア	肺結核治愈後	
157	男	1950代	無	—	なし				—	⑤				●	●		●	●	ア	右下葉肺がん切除術 後	
158	男	1950代	無	—	②疑				—	②				●			●	●	ア		
159	女	1940代	無	—	なし				—	なし				●		●	●		ア		
160	女	1960代	無	—	なし				—	なし				●		●	●	●	ア		
161	女	1940代	無	—	なし				—	⑤				●		●	●	●	ア	右上葉索状陰影(炎 症性変化)	
162	男	1930代	無	—	なし				—	②				●		●	●	●	ア		
163	女	1930代	無	—	⑤				—	⑤						●		●	ウ	気管支拡張症、非定 型抗酸菌症疑い	
164	男	1960代	無	—	なし				—	なし				●		●	●	●	ア		
165	女	1960代	無	—	なし				—	なし				●	●	●	●	●	ア		
166	女	1940代	無	—	⑤				—	⑤				●		●	●	●	ア	左下葉S6結節影、固 像精検、手術予定	

平成 23 年度 石綿健康リスク調査報告書

A-2表:平成 23 年度受診者 3 名(調査対象外の者)

通し番号 1~3

症例 番号	性別	生年 (西暦)	H21年 度の受 診の有 無	H22年 度X線 所見	H23年 度X線 所見	H24年 度X線 所見	H25年 度X線 所見	H26年 度X線 所見	H27年 度CT所 見	H28年 度CT所 見	H29年 度CT所 見	H30年 度CT所 見	H31年 度CT所 見	H32年 度CT所 見	ア.直接 曝露あり	イ.間接 曝露あり	ウ.家庭 内ばく 露あり	エ.登 入/居 内環境 ばく露 あり	オ.その他	ばく露 歴分類	備考 (その他所見、特記事項)	次年度の受診
1	男	1940代	無	—	なし				—	なし					●					ア		
2	男	1950代	無	—	なし				—	なし					●	●			●	ア		
3	女	1940代	無	—	なし				—	なし					●		●		●	ア		

A表の注釈

注1: 所見については、胸部X線検査および胸部CT検査の結果を踏まえ、石綿ばく露に関連する可能性がある①~⑧及びその他の所見⑨(石綿ばく露に関連しない)を確認する(重複含む)。

- ① 胸水貯留
 - ② 胸膜プラーク(限局性の胸膜肥厚斑)
 - ③ びまん性胸膜肥厚
 - ④ 胸膜腫瘍(中皮腫)疑い
 - ⑤ 肺野の間質影
 - ⑥ 円形無気肺
 - ⑦ 肺野の腫瘍状陰影(肺がん等)
 - ⑧ リンパ節の腫大
 - ⑨ その他の所見
- なし 特記すべき所見がない

注2: ばく露歴については、該当するものにすべて●を記入(ア~オは重複可)

- ア. 直接石綿を取り扱っていた職歴がある者
 イ. 直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者
 ウ. 家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者で作業具を家庭内に持ち帰ることなどによる石綿ばく露の可能性が考えられる者
 エ. 職域以外で石綿取り扱い施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者
 オ. 上記ア~エ以外のばく露の可能性が特定できないもの(居住地や学校・職場等の周辺に石綿取り扱い施設がある場合も含む)

注3: ばく露歴分類については、各事案のばく露要因を1つに分類するもの。なお、複数のばく露歴がある者については、基本的には下記に従うものとする。

- ア. 直接石綿を取り扱っていた職歴がある者
 イ. 上記アに該当せず、直接ではないが、職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者
 ウ. 上記ア~イに該当せず、家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者で作業具を家庭内に持ち帰ることなどによる石綿ばく露の可能性が考えられる者
 エ. 上記ア~ウに該当せず、職域以外で石綿取り扱い施設や吹き付け石綿の事務室等に立ち入り経験がある者
 オ. 上記ア~エに該当しないもの
 上記以外による分類が適当であると考えられる場合や判断が困難な場合には、症例番号と具体的な内容を記入し、具体的な分類については環境省と相談することとする。

注4: 備考欄については、精密検査項目、特記すべき病名や所見、検査などその他の特記事項を記入する。

- 精密検査例
 採血...腫瘍マーカー検査等
 画像精検...CT撮影(造影含む)の精密検査等
 精検...胸腔鏡検査、気管支ファイバースコープ検査、経皮的針生検法、経気管肺生検法、胸水検査、病理組織診断、細胞診断の検査等
 呼吸検査...呼吸機能検査、動脈血液ガス分析等

注5: 次年度の受診の欄については、次年度の検査を行わない場合にその理由を記入する。

具体的には、医療の必要があるとされた者については、その旨を(可能であれば疾患の名称もあわせて)記入するとともに、石綿手帳の取得、労災、救済法の認定や申請中である場合にはその旨を記入する。

11. 次年度検査予定者、検査終了者

表6 次年度検査予定者、検査終了者

年齢階層	受診者						うち調査対象者					
	計		男性		女性		計		男性		女性	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
次年度検査予定者	162	98.8%	83	98.8%	79	98.8%	159	98.8%	81	98.8%	78	98.7%
検査終了者	2	1.2%	1	1.2%	1	1.2%	2	1.2%	1	1.2%	1	1.3%
合 計	164	100.0%	84	100.0%	80	100.0%	161	100.0%	82	100.0%	79	100.0%

※平成24年3月31日現在

12. 平成 22 年度受診者のうち、平成 23 年度受診しなかった者のアンケート結果

表7 平成22年度受診者のうち、平成23年度に受診しなかった者のアンケート結果

表7-1 平成23年度未受診者数

	受診者						うち調査対象者					
	合計		男性		女性		合計		男性		女性	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
平成23年度未受診者	70	100.0%	42	100.0%	28	100.0%	70	100.0%	42	100.0%	28	100.0%
うち回答者	53	75.7%	31	73.8%	22	78.6%	53	75.7%	31	73.8%	22	78.6%
辞退者(平成22年度からの累積)	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%

表7-2 平成23年度に受診しなかった理由

	受診者(回答件数)						うち調査対象者(回答件数)					
	合計		男性		女性		合計		男性		女性	
	(件数)	(%)	(件数)	(%)	(件数)	(%)	(件数)	(%)	(件数)	(%)	(件数)	(%)
前回異常がなかったから	11	20.8%	6	19.4%	5	22.7%	11	20.8%	6	19.4%	5	22.7%
自覚症状(異常)がないから	9	17.0%	6	19.4%	3	13.6%	9	17.0%	6	19.4%	3	13.6%
忙しく時間がないから	10	18.9%	6	19.4%	4	18.2%	10	18.9%	6	19.4%	4	18.2%
住民健診で受けたから	2	3.8%	1	3.2%	1	4.5%	2	3.8%	1	3.2%	1	4.5%
職場健診を受けたから	2	3.8%	1	3.2%	1	4.5%	2	3.8%	1	3.2%	1	4.5%
人間ドックで受けたから	1	1.9%	0	0.0%	1	4.5%	1	1.9%	0	0.0%	1	4.5%
石綿関連疾患が判明し、治療中だから	4	7.5%	4	12.9%	0	0.0%	4	7.5%	4	12.9%	0	0.0%
石綿関連以外の他疾患が判明し、治療中だから	6	11.3%	5	16.1%	1	4.5%	6	11.3%	5	16.1%	1	4.5%
その他の理由	27	50.9%	15	48.4%	12	54.5%	27	50.9%	15	48.4%	12	54.5%
回答数合計	72		44		28		72		44		28	
回答者件数	53		31		22		53		31		22	

※アンケートは、複数回答可として実施

※%は、回答者件数に対する割合を示す。

13. ばく露歴集計

B表: 調査対象者(平成16年以前に北九州市門司区に居住していた者)に関するばく露歴集計表

ばく露歴 ばく露 歴分類	ア.直接職歴あり	イ.間接職歴あり	ウ.家庭内ばく露あり	エ.立入・屋内環境 ばく露あり	オ.その他	小計		合計	
						計	うち 女性	計	うち 女性
ア	●					9	2	66	18
	●	●				2	0		
	●		●			1	0		
	●			●		6	0		
	●				●	15	4		
	●	●	●			0	0		
	●	●		●		0	0		
	●	●			●	0	0		
	●		●	●		1	1		
	●		●		●	3	2		
	●			●	●	17	2		
	●	●	●	●		0	0		
	●	●	●		●	0	0		
	●	●		●	●	3	0		
	●		●	●	●	8	6		
	●	●	●	●	●	1	1		
イ		●				2	0	12	4
		●	●			0	0		
		●		●		2	0		
		●			●	3	0		
		●	●	●		1	1		
		●	●		●	3	2		
		●		●	●	0	0		
		●	●	●	●	1	1		
ウ			●			9	9	25	25
			●	●		0	0		
			●		●	14	14		
			●	●	●	2	2		
エ				●		5	2	18	4
				●	●	13	2		
オ					●	40	28	40	28
合計*	66	18	44	60	123	161	79	161	79
うち女性*	18	5	39	18	64				

* 縦計については、重複計上により算定した。

※問診のみの者を除く

14. ばく露歴及び年齢階層分類表

C表:調査対象者(平成16年以前に北九州市門司区に居住していた者)に関するばく露歴分類と年齢階層別のクロス表

年齢階層	合計		ア. 主に直接職歴		イ. 主に間接職歴		ウ. 主に家庭内ばく露		エ. 主に立入・屋内環境ばく露		オ. その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	3	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1
40～49歳	11	6	4	2	1	0	0	0	1	0	5	4
50～59歳	17	10	7	1	0	0	5	5	0	0	5	4
60～69歳	77	35	29	7	8	3	12	12	13	4	15	9
70～79歳	46	23	21	5	2	1	7	7	3	0	13	10
80～89歳	7	4	5	3	1	0	1	1	0	0	0	0
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	161	79	66	18	12	4	25	25	18	4	40	28

※平成24年3月31日現在

※問診のみの者を除く

15. ばく露歴とX線画像所見のクロス集計表

D表:調査対象者(平成16年度以前に北九州市門司区に居住していた者)に関するばく露歴分類と画像所見のクロス集計表

D-1表:胸部X線の画像所見について

	合計		ア. 主に直接職歴		イ. 主に間接職歴		ウ. 主に家庭内ばく露		エ. 主に立入・屋内環境ばく露		オ. その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
調査対象者	161	79	66	18	12	4	25	25	18	4	40	28
胸部X線受診者	161	79	66	18	12	4	25	25	18	4	40	28
石綿関連所見(疑いを 含む)実人数	15 (8)	4 (1)	12 (7)	2	1	0	1 (1)	1 (1)	1	1	0	0
①胸水貯留	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②胸膜プ ラーク(胸膜 肥厚斑)	9 (5)	2	7 (5)	1	1	0	0	0	1	1	0	0
③びまん性 胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤肺野の 間質影	5 (1)	1	5 (1)	1	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦肺野の 腫瘤状陰影 (肺がん等)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	0	0	0	1 (1)	1 (1)	0	0	0	0
胸部X線未受 診者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※①～⑦のうち、重複計上含む

※()は所見疑いを再掲

※問診のみの者を除く。

16. ばく露歴と CT 画像所見のクロス集計表

D表:調査対象者(平成16年以前に北九州市門司区に居住していた者)に関するばく露歴分類と画像所見のクロス集計表

D-2表:胸部CTの画像所見について

	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
調査対象者	161	79	66	18	12	4	25	25	18	4	40	28
胸部CT受診者	123	58	56	15	10	4	17	17	14	4	26	18
石綿関連所見(疑いを含む)実人数	23	6	18	3	2	0	1	1	1	1	1	1
①胸水貯留	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②胸膜ブランク(胸膜肥厚斑)	17	3	14	2	2	0	0	0	1	1	0	0
③びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④胸膜腫瘍(中皮腫)疑い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤肺野の間質影	3	2	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0
⑥円形無気肺	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦肺野の腫瘍状陰影(肺がん等)	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧リンパ節の腫大	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
②胸膜ブランク且つ⑤肺野の間質影あり※1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胸部CT未受診者	38	21	10	3	2	0	8	8	4	0	14	10

※①～⑧は重複計上含む

※()は所見疑いを再掲している。

※1 胸膜ブランク且つ肺野の間質影がある者について、2所見のうち、いずれかが「疑い」であれば、()の所見疑いに計上している。

※問診のみの者を除く。

③びまん性胸膜肥厚の所見における石綿との関連

③びまん性胸膜肥厚	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
石綿の関連を強く疑う	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石綿の関連を疑う	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石綿の関連の可能性はある	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他の原因である可能性が高い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※()は所見疑いを再掲

⑤肺野の間質影の詳細分類(胸部CTの画像所見)

	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
肺野の間質影実人数	3	2	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0
胸膜下曲線様陰影	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
胸膜下曲線様陰影うち直下(再掲)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胸膜下曲線様陰影うち非直下(再掲)	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
小葉中心性粒状影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
すりガラス様陰影	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
網状影	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
蜂窩肺	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肺実質内帯状影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※()は所見疑いを再掲

※一人が複数の所見を有している場合には、それぞれの所見を計上している

⑤肺野の間質影の所見における石綿との関連

⑤肺野の間質影	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
石綿の関連を強く疑う	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石綿の関連を疑う	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
石綿の関連の可能性はある	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他の原因である可能性が高い	3	2	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0
合計	3	2	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0

※()は所見疑いを再掲

D-3表:調査対象者(平成16年以前に北九州市門司区に居住していた者)に関する石綿関連所見が見られた者の年齢階層別(胸部CTの画像所見)

①～⑧の年齢階層別集計

①胸水貯留

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～69歳	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～79歳	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80～89歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※()は所見疑いを再掲

平成 23 年度 石綿健康リスク調査報告書

②胸膜プラーク(胸膜肥厚斑)

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～69歳	6	1	4	0	1	0	0	0	1	1	0	0
70～79歳	7	1	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0
80～89歳	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	17	3	14	2	2	0	0	0	1	1	0	0

※()は所見疑いを再掲

③びまん性胸膜肥厚

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80～89歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※()は所見疑いを再掲

④胸膜腫瘍(中皮腫)疑い

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80～89歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※()は所見疑いを再掲

⑤肺野の間質影

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～69歳	3	2	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0
70～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80～89歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	2	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0

※()は所見疑いを再掲

⑥円形無気肺

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～79歳	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80～89歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※()は所見疑いを再掲

⑦肺野の腫瘤状陰影(肺がん等)

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～69歳	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80～89歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※()は所見疑いを再掲

⑧リンパ節の腫大

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80～89歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※()は所見疑いを再掲

②胸膜ブランク且つ⑤肺野の間質影あり

年齢階層	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70～79歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80～89歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
90～99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※()は所見疑いを再掲

※胸膜ブランク且つ肺野の間質影がある者について、2所見のうち、いずれかが「疑い」であれば、()の所見疑いに計上している。

17. ばく露歴分類が「オ（その他）」の者に関するプロット図

E表：調査対象者（平成16年以前に北九州市門司区に居住していた者）に関するばく露歴分類が「オ（その他）」の者の詳細

E-1表：ばく露歴分類が「オ（その他）」の居住時期（胸部CTを受診した者）

「オ（その他）」の調査対象者	居住時期																			
	昭和25年時点に居住歴のある者		昭和30年時点に居住歴のある者		昭和35年時点に居住歴のある者		昭和40年時点に居住歴のある者		昭和45年時点に居住歴のある者		昭和50年時点に居住歴のある者		昭和55年時点に居住歴のある者		昭和60年時点に居住歴のある者		平成2年時点に居住歴のある者		平成7年時点に居住歴のある者	
実人数	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計
26	18	7	4	7	4	12	7	12	8	16	10	14	9	15	11	15	11	17	11	17

※問診のみの者を除く

E-2表：調査対象者（平成16年以前に北九州市門司区に居住していた者）に関するばく露歴分類が「オ（その他）」の対象期間に居住歴がある者と画像所見のクロス集計表

「オ（その他）」の調査対象者	居住時期																			
	昭和25年時点に居住歴のある者		昭和30年時点に居住歴のある者		昭和35年時点に居住歴のある者		昭和40年時点に居住歴のある者		昭和45年時点に居住歴のある者		昭和50年時点に居住歴のある者		昭和55年時点に居住歴のある者		昭和60年時点に居住歴のある者		平成2年時点に居住歴のある者		平成7年時点に居住歴のある者	
実人数	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計
「オ（その他）」の調査対象者	26	18	7	4	7	4	12	7	12	8	16	10	14	9	15	11	15	11	17	11
石綿関連所見（疑いを含む）実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
①胸水貯留	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②胸膜ブランク（胸膜肥厚脱）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③肺野の間質影もある者 ^{※1}	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤胸膜腫瘍（中皮腫）疑い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑥肺野の間質影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦円形無気肺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧肺野の腫瘍陰影（肺がん等）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑨リンパ節の腫大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※胸部CTの画像所見を基に計上している。

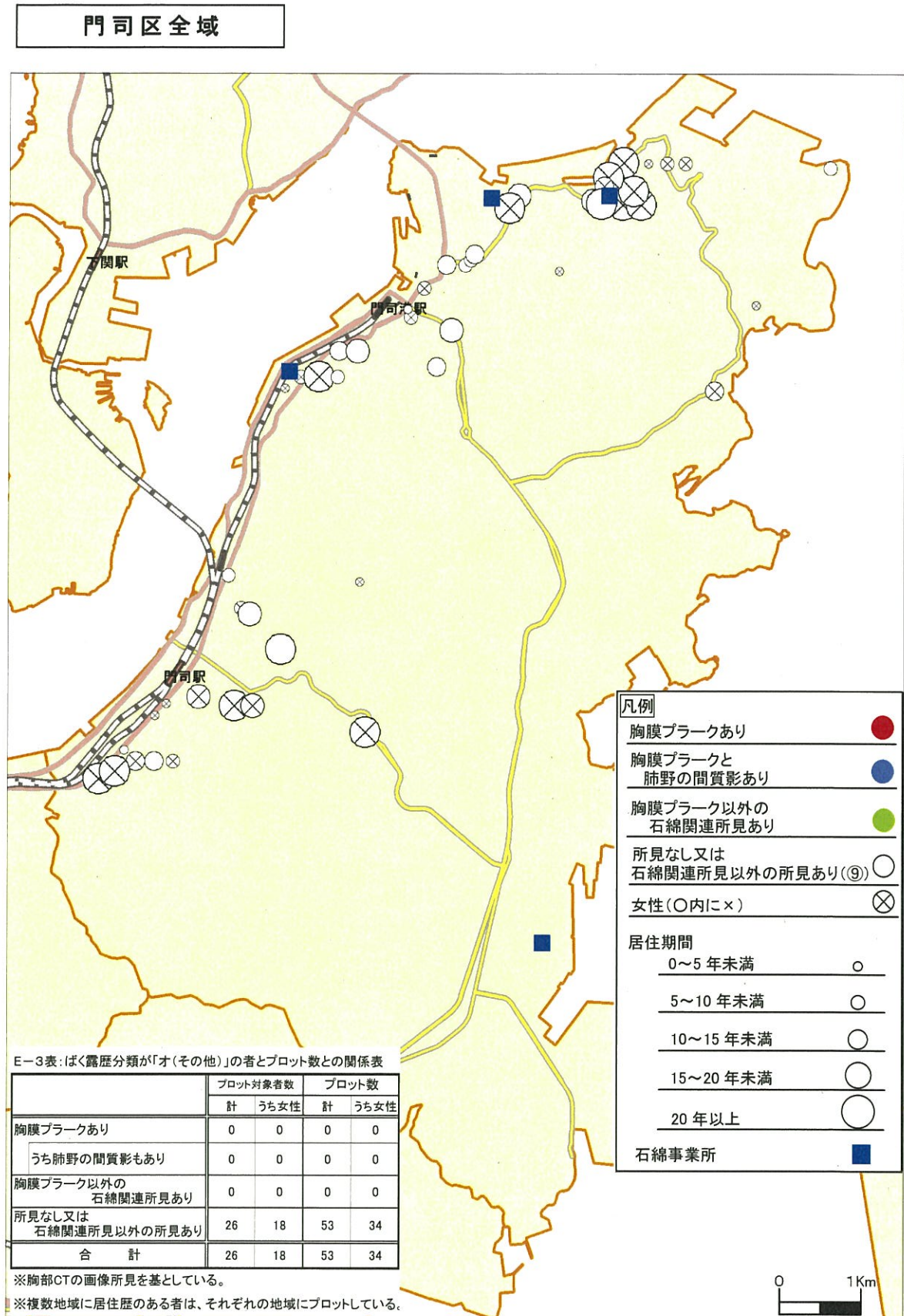
※①～⑧は重複計上含む

※（ ）は所見疑いを再掲

※問診のみの者を除く

※1 胸膜ブランク、肺野の間質影もある者について、2所見のうち、いずれかが「疑い」であれば、（ ）の所見疑いに計上している。

E 図：ばく露歴分類が「オ（その他）」の者に関するプロット図



E-4表:調査対象者(平成16年以前に北九州市門司区に居住していた者)に関する
ばく露歴分類が「オ(その他)」で胸膜プラークのプロットがある町名別一覧表

	プロット数					
	胸膜プラークありの者のプロット数		うち肺野の間質影もある者の プロット 数		全プロット数	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
大字田野浦	0		0		2	2
大久保	0		0		2	1
奥田	0		0		1	1
風師	0		0		2	0
清滝	0		0		1	1
清見	0		0		3	1
葛葉	0		0		4	3
栄町	0		0		1	1
寺内	0		0		1	0
社ノ木	0		0		4	2
白野江	0		0		3	2
大里桜ヶ丘	0		0		2	2
大里原町	0		0		1	1
大里東	0		0		1	0
高田	0		0		1	1
田野浦	0		0		12	10
長谷	0		0		1	0
中二十町	0		0		1	0
原町別院	0		0		1	1
東新町	0		0		2	2
東門司	0		0		2	0
本町	0		0		1	0
丸山	0		0		1	0
柳町	0		0		2	2
下二十町	0		0		1	1
計	0		0		53	34

※胸部CTの画像所見を基としている。

※複数の居住歴のある者は、それぞれの町ごとに計上している。

18. 平成 22 年度調査受診者の診断経過について

○ リスク調査が発見の契機となったケース

ア 平成 22 年度に石綿の健康リスク調査を受診し、医療の必要があると判断された者 9 人がその後、医療機関でどのような診断を受けているのか本人や家族に確認を行った。

その結果、7 人が医療機関を受診しており、2 人が肺がん、1 人が肺がん疑い、1 人は左胸膜プラークと肺気腫、2 人が肺炎、1 人がサルコイドーシスと診断されていた。なお、肺がんと診断された 2 名は死亡しており、うち 1 人が石綿救済制度において認定されていた。また、肺がん疑いの 1 人は平成 23 年度リスク調査を受診し、異常なしと判定された。

医療機関未受診者 2 人のうち、1 人は平成 23 年度リスク調査を受診し、肺野の間質影と判定された。

イ 平成 22 年度に石綿の健康リスク調査を受診したが、医療が必要と判断されなかった者で、平成 23 年度の石綿の健康リスク調査未受診の者 70 人に対して、その後の経過観察について、アンケートを行った。その結果、2 人が石綿肺との診断を受けていることがわかった。

○ リスク調査以外が発見の契機となったケース

ウ 上記イの 70 人のうち、自覚症状があつて受診した結果、石綿肺と診断された者が 1 人いることがわかった

表ア-1: 石綿関連疾患と診断された者の診断状況

	合計		ア.主に直接職歴		イ.主に間接職歴		ウ.主に家庭内ばく露		エ.主に立入・屋内環境ばく露		オ.その他	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
リスク調査が発見の契機												
a. 中皮腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
b. 肺がん	2	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
c. 石綿肺	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
d. 良性石綿胸水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
e. びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	4	1	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0
リスク調査以外が発見の契機												
a. 中皮腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
b. 肺がん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
c. 石綿肺	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
d. 良性石綿胸水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
e. びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計												
a. 中皮腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
b. 肺がん	2	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
c. 石綿肺	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
d. 良性石綿胸水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
e. びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	5	1	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0

※()は所見疑いを再掲

※肺がんについては、石綿以外の原因によるものも含まれている。

平成 23 年度 石綿健康リスク調査報告書

表ア-2: 石綿関連疾患と診断された者の労災、石綿救済法の認定状況

	合計		ア主に直接職業		イ主に間接職業		ウ主に家庭内ばく露		エ主に立入・屋内環境ばく露		オその他	
	労災	石綿救済	労災	石綿救済	労災	石綿救済	労災	石綿救済	労災	石綿救済	労災	石綿救済
	計	うち	計	うち	計	うち	計	うち	計	うち	計	うち
リスク調査が発見の契機												
a. 中皮腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
b. 肺がん	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
c. 石綿肺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
d. 良性石綿胸水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
e. びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
リスク調査以外が発見の契機												
a. 中皮腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
b. 肺がん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
c. 石綿肺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
d. 良性石綿胸水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
e. びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計												
a. 中皮腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
b. 肺がん	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
c. 石綿肺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
d. 良性石綿胸水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
e. びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0

※()は所見疑いを再掲

※肺がんについては、石綿以外の原因によるものも含まれている。

表イ: 石綿関連疾患と診断された者の発見契機別

	合計		健康リスク調査		健康リスク調査以外		住民健診		職場健診		人間ドック		自覚症状		他疾患治療中		その他		不明	
	合計	うち女性	計	うち女性	小計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
a. 中皮腫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
b. 肺がん	2	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
c. 石綿肺	3	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
d. 良性石綿胸水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
e. びまん性胸膜肥厚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※()は所見疑いを再掲

※肺がんについては、石綿以外の原因によるものも含まれている。

表ウ: 石綿関連疾患と診断された者の年齢階層別分類表

年齢階層	合計		a. 中皮腫		b. 肺がん		その他石綿関連疾患	
	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性	計	うち女性
40歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49歳	0	0	0	0	0	0	0	0
50～59歳	0	0	0	0	0	0	0	0
60～69歳	0	0	0	0	0	0	0	0
70～79歳	4	1	0	0	2	1	2	0
80～89歳	1	0	0	0	0	0	1	0
90歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	5	1	0	0	2	1	3	0

※()は所見疑いを再掲

※肺がんについては、石綿以外の原因によるものも含まれている。

平成 23 年度環境省委託業務報告書

平成 23 年度一般環境経由による石綿ばく露健康リスク調査（北九州市）委託業務

平成 24 年 3 月 30 日

発注者 環境省総合環境政策局

環境保健部企画課石綿健康被害対策室

TEL : 03-3581-3351 (内線 6387) FAX : 03-5510-0122

E-mail ISHIWATA@env.go.jp

受託者 住所 福岡県北九州市小倉北区馬借 1 丁目 7 番 1 号

名称 北九州市保健福祉局総合保健福祉センター管理課